

Your future is made by reading books 14号

2024年3月20日

図書館を利用している生徒がいる時間に、購入した本をリュックから取り出し「今日は新しくこんな本を持ってきたよ。」と伝えると、子どもたちの視線はその新しい本に注がれます。こうした学校図書は主に2か所の本屋さんで購入しています。どちらの本屋さんも一度に大量買いするために顔を覚えてもらい、学校名と電話番号を会計時に打ち込みした際に、かなりディスカウントしてもらいその分次回の本購入に充てる事が出来るのがそのうちの一つです。見切り本となって安く売られている本でもさらにディスカウントしてもらえ、しばらく行っていないと「店内が少し変わったから来ませんか。」とさえ電話をくれるのです。そんなしばらく行っていないく、去年夏一時帰国した際にアフリカ布小物販売した時に得た資金でそろそろ行こうかなと思っていた時に電話があり翌日行った日に思いもかけなかった絵本に出会えたのです。いつものように広い児童書コーナーの一つ一つの棚を見て行くと、どこか懐かしい見覚えのある絵のタッチの冊子タイプの絵本が目にとまりました。絵本のタイトルは『colors』とあり Satoshi Kitamura と表紙には記してありました。見覚えのあるこの絵はどこで見たのだろう。絵本の内容は imagine することを伝えているものです。世界が黄色だったら、、その黄色にもいろんな黄色がある。世界が赤だったら、、その赤にもいろんな赤がある。想像することの楽しさを伝える絵本です。想像すること、、imagine この事はたくさんの本に触れることにより想像力をつけて欲しいという私の想いでもあります。日本の小学校2年生の国語の教科書に『ミリーのすてきなぼうし』が出てきます。この作者がきたむらさとしさんなのです。懐かしい見覚えのある絵のタッチはこの『ミリーのすてきなぼうし』だったのです。このお話しは想像力を膨らませて楽しむことが出来ます。30年間のイギリスロンドン暮らしを終えて10年前ほど前から神戸で暮らしているきたむらさとしさんはイギリスで絵本作家デビューをされたからこうしてガーナで英語版の絵本が手に入るのかとネットで調べ深く関心しました。さて、この『colors』を手にした子どもは黄色の世界、赤の世界をどのように想像するのでしょうか。日本人作家きたむらさとしさんの絵本を楽しんでもらいたいです。



図書館建設サポーター 一般社団法人ギブアウェイ様

プロジェクトサポーター フェリシモ基金事務局様 矢東タイヤ様

KAWASHO FOODS(GULF)FZE 様

